島根県 追補

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 枚村, 喜則, 井上, 雅仁 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053521

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

32. 島根県　追補

枚村喜則（〒 690-0823　松江市西川津町 2627-5）
井上雅仁（〒 694-0003　大田市三瓶町多根 1121-8　島根県立三瓶自然館）

(A)　植物誌

「島根県植物誌」としてまとめられたものはないと思われる。また，組織的な植物誌編纂の計画もないようである。

島根県のフロラ資料として，枚村喜則は『島根県立三瓶自然館研究報告』第3号（2005）に「島根県種子植物相」，同第4号（2006）に「島根県種子植物相（補遺）」を報告している。これは標本の有無，所在については記載したものではない。

また，2003年に設立された島根県植物研究会では，年に数回の会報が発行されており，県内における分布などフロラに関する資料などが掲載されている。本会においては，基礎データ充実のための標本収集も進められている。

(B)　研究機関

島根大学には生物資源科学部生物学科に維管束植物の研究教官の研究室がある。大学に収蔵されている標本の整理や，デジタル標本館の名で，標本のデジタル画像の公開が行われている（http://tayousei.life.shimane-u.ac.jp/）。

県立の自然系博物館として三瓶自然館がある。収蔵庫が備え付けられているとともに，植物担当の学芸員が在籍している。レッドデータブック改訂などにあわせて，現地調査や分布情報の整理などが行われている。

(C)　標本

「島根県立三瓶自然館」は島根県の自然史系博物館相当施設として設置されて県内の植物標本の収集を行ってきている。2004年，2007年には，枚村喜則が島根県内の収集維管束植物計約40,000点を寄贈し，現在その整理が進められている。現在までで約25,000点が整理，データベース化されている。このうち約10,000点については，『枚村喜則氏収集植物標本目録（Ⅰ）』（2009年）としてまとめられている。また，約20,000点のデータについては，国立科学博物館のS-netおよびGBIFで公開されている。また標本画像は，島根大学のデジタル標本館で公開されている。その他，丸山巌氏が収集した標本が20,000点以上寄贈されているが，整理作業は今後の予定となっている。

(D)　レッドデータブック

1997年に島根県景観自然課により『しまねレッドデータブック』が発刊された。「緊急保護種」，「要保護種」，「要注意種」の3つのカテゴリー区分が設定され，維管束植物124種が取り上げられた。その後2004年の改訂版では，基本的に環境省のカテゴリー区分に準じて選定が行われた結果，維管束植物339種，蘚苔類8種，藻類1種，地衣類6種，菌類7種，計361種が取り上げられている。現在2回目の改訂が県自然環境課により進行中で，今年度内に発刊の予定である。

図　改訂・しまねレッドデータブック

(E)　植物群落

県内においての植生（植物群落）についての組織的な調査，研究はまったく行われていないものと思われる。全県的な資料としては，2006年に日本生物教育会第61回全国大会記念誌として『新島根の生物』が発行され，県内の植生や植物相に関して，概要がまとめられている。